

立教池袋 運動部通信

第109号

2026. 7. 21

～春・夏の大会結果～

中学・高校1年生のみなさん、初めまして。

運動部通信2026年度の第一号をお届けします。

この「運動部通信」とは、運動部各部の試合・大会の結果や今後の予定の他、メンバーの情報や活動の様子まで細かくお伝えしていくものです。

朝礼だけではなかなか知ることのできない地区予選や区大会などの様子もわかりますので、ぜひ、様々な部の勝ち進み具合や予定を見て、仲間の応援をしていきましょう！

夏休み中も、多くの部で大会・試合があるようです。

中高3年生にとっての最後の試合が残っている部もあります。

クラスや学年の仲間の試合を観に行ってみてはいかがでしょうか。

中高剣道部

今年度の剣道部は新入部員をなんと9名迎えて、中高合わせて18名で日々の稽古を重ねている。昨年度に引き続き、佐々木峻輔先生が副顧問として専門家の立場から部員たちを指導、レベルの高い稽古を展開している。

中学生は数年ぶりに5人そろって団体戦に臨むことができるようになり他校と対等に渡り合っている。春こそ敗れはしたものの、6月末のブロック大会までに着実にチーム力を向上させ、3年生2名、1年生9名というチーム編成ながら見事に都大会出場をつかみ取った。7/23に行われる都大会で最大限の力を発揮したい。

高校生は7人で各大会に臨んでいる。春は課題を残す結果となったが、ゴールデンウィークを中心に強豪校との練習試合を重ねてチーム力を向上させてきた。その成果が夏には発揮され、都大会団体戦では東京都ベスト32という結果をおさめている。

現チームで挑む大会は8月2日に行われる五大学付属剣道大会道大会が最後となる。今年度は立教池袋中高体育館での開催、ぜひとも良い成果をあげたいところだ。この1カ月の間に一人一人が心技体をどこまで鍛え上げられるか、そしてその力を結集してチーム力をどこまで高められるかがカギとなる。この「過程」＝真剣な日々の稽古の積み重ねを大切に「結果」につなげていきたいと思う。

陸上競技部

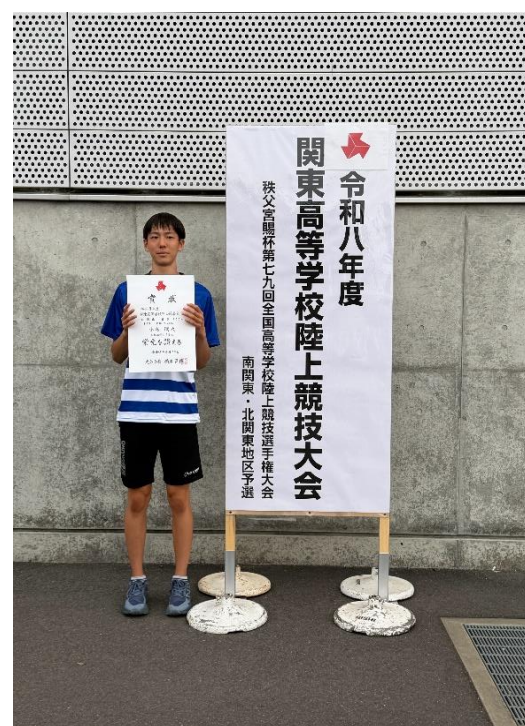
中高陸上競技部 全国への切符——挑戦と成長の春から夏へ

今年度は中学1年生8名、高校1年生4名が入部し、新たな仲間を迎えて中高陸上競技部の活動がスタートした。

中学生は春の都大会予選を終え、個人2種目、リレー1種目で都大会進出を決めた。高校生も多く部員が都大会に出場し、それぞれが全力で競技に挑んだ。入賞まであと一歩に迫りながら届かなかった種目もあり、勝負の厳しさを改めて知る大会となった。

近年、陸上競技の短距離種目(100m～400m)は、全国的に目覚ましいレベルアップを遂げている。昨年には、高校2年生にして100mで10秒00を記録する選手が現れ、10秒2台、10秒3台の好記録も続出した。高校生の短距離界は、まさに新たな時代を迎えている。そのようなハイレベルな状況の中、高校3年の小島は、5月に行われた東京都大会の100mと200mでそれぞれ4位に入賞。全国高校総体(インターハイ)出場を懸けた南関東大会へと駒を進めた。茨城県で開催された南関東大会では、競技場はもちろん、練習会場にまで張り詰めた空気が漂っていた。各都県の予選を勝ち抜いた選手たちが集い、誰もが全国の舞台を目指す。その場にただいて息を呑むような、独特の重圧に包まれていた。

小島は100mと200mの2種目でインターハイ出場を目指した。最初に挑んだ100mでは予選を通過したものの、準決勝で惜しくも敗退。南関東大会の壁は厚く、全国への道の険しさを突きつけられる結果となった。100mの悔しさを胸に抱えながらも気持ちを切り替え、続く200mに臨んだ。予選を突破し、見事に決勝進出を果たした。迎えた200m決勝は、100mから数えて4本目のレースである。連戦による疲労に加え、全国出場が懸かる精神的な負担も大きい。そのような状況の中でも、決勝前のウォーミングアップでは、これまで追い求めてきた理想的な走りのフォームに近づいていった。身体の動きと気持ちがかみ合い、自信を持ってスタートラインへ向かうことができた。



応援に駆けつけた部員たち全員でその背中を送り出し、いよいよ運命の決勝を迎えた。大外レーンから果敢に飛び出し、最後まで懸命に走り抜いた小島は、5着でフィニッシュ。6位までに与えられるインターハイ出場権を獲得し、見事に全国への扉を開いた。選手の走りを見守る側にとっても、あれほど胸が締めつけられるような時間は、人生の中で何度も経験できるものではない。小島本人はもちろん、共に戦い、声援を送った部員たちにとっても、かけがえのない経験となった。

次なる舞台は、滋賀県で行われる全国高校総体である。全国から強豪選手が集う大舞台でもうひと暴れできるよう、これからも一日一日の練習を大切に積み重ねていく。

一方、新入部員にとっては、これから迎える初めてのレースが新たな挑戦の始まりとなる。緊張や不安を力に変え、それぞれが競技者としての一歩を踏み出してくれることを期待している。

夏の暑ささえも喜びに変えられるような、実りある季節にするために——。それぞれが個人とチームの課題に向き合いながら、一歩ずつ前進

している。夏から秋に向け、さらなる成長と飛躍に期待したい。

東京都高等学校選手権水泳大会（関東大会予選）

＜50m 自由形 予選＞
第 2 位 齊藤マイロ 23.43
第 19 位 楠本威早 24.71
第 64 位 矢崎薫 25.94

＜50m 自由形 決勝＞
第 2 位 齊藤マイロ 23.57

＜100m 自由形 予選＞
第 17 位 楠本威早 53.92
第 46 位 小杉慶人 56.09
第 49 位 谷川稜磨 56.40

＜200m 自由形 予選＞
第 35 位 佐々木遼 2:10.88

＜100m 背泳ぎ 予選＞
第 3 位 阿部煌生 57.67
第 48 位 谷川稜磨 1:07.25
第 58 位 潮奏翔 1:09.82

＜100m 背泳ぎ 決勝＞
第 3 位 阿部煌生 57.30

＜200m 背泳ぎ 予選＞
第 4 位 阿部煌生 2:07.66

＜200m 背泳ぎ 決勝＞
第 6 位 阿部煌生 2:09.42

＜50m 平泳ぎ タイム決勝＞
第 3 位 齊藤マイロ 29.84
第 12 位 熊谷知隼 31.38
第 41 位 市川玲温 33.25

東京都中学校選手権水泳大会（関東大会・全国大会予選）

＜50m 自由形 予選＞
第 46 位 大北錬 26.91
第 54 位 高山惺太 27.09
第 85 位 豊津遥輝 27.65
第 143 位 鵜川悠生 28.47
第 147 位 齋藤玖音 28.55
第 160 位 河合智陽 28.65
第 172 位 山口拓真 28.80
第 175 位 新井奏 28.84

＜100m 自由形 予選＞
第 73 位 高山惺太 1:01.17
第 92 位 河合智陽 1:02.13
第 117 位 山崎蓮芳 1:03.28
第 129 位 山口拓真 1:03.68
第 138 位 新井奏 1:04.08

＜200m 自由形 予選＞
第 39 位 山崎蓮芳 2:19.53

＜100m 平泳ぎ 予選＞
第 19 位 菊谷侑杜 1:06.61
第 47 位 熊谷知隼 1:11.50
第 65 位 市川玲温 1:14.76

＜200m 平泳ぎ 予選＞
第 19 位 菊谷侑杜 2:26.85

＜50m バタフライ タイム決勝＞
第 24 位 長尾竜之介 27.78
第 31 位 田野倉悠依 28.14
第 48 位 神林孝臣 29.23

＜100m バタフライ 予選＞
第 31 位 手島隆希 1:00.24
第 32 位 小杉慶人 1:00.46
第 34 位 長尾竜之介 1:00.53

＜200m バタフライ 予選＞
第 23 位 手島隆希 2:17.16

＜200m 個人メドレー 予選＞
第 30 位 佐藤優慈朗 2:27.70
第 34 位 柳井颯介 2:33.92

＜400m フリーリレー タイム決勝＞
第 7 位 立教池袋 3:34.54

＜800m フリーリレー タイム決勝＞
第 11 位 立教池袋 8:08.46

＜400m メドレーリレー タイム決勝＞
第 6 位 立教池袋 3:55.68

＜400m 自由形 タイム決勝＞
第 5 位 高橋真正 4:15.68

＜1500m 自由形 タイム決勝＞
第 2 位 高橋真正 16:54.10

＜100m 背泳ぎ 予選＞
第 18 位 大北錬 1:06.95
第 35 位 加藤匠真 1:10.50

＜200m 背泳ぎ 予選＞
第 29 位 加藤匠真 2:35.96

＜100m 平泳ぎ 予選＞
第 12 位 神谷琥太郎 1:10.32
第 49 位 鵜川悠生 1:15.88

＜200m 平泳ぎ 予選＞
第 14 位 神谷琥太郎 2:33.74

＜100m バタフライ 予選＞
第 35 位 齋藤玖音 1:07.03
第 43 位 豊津遥輝 1:10.73

＜400m フリーリレー タイム決勝＞
第 9 位 立教池袋中学 3:56.53

＜400m メドレーリレー タイム決勝＞
第 9 位 立教池袋中学 4:18.24



高校生は関東大会，インターハイへと続く東京都予選会が6月20日，21日に東京アクアティクスセンターで行われた。
その結果，5種目で5名の関東大会出場が決まった。その後7月18日～20日の関東大会でインターハイ出場を無事に決めた。

中学生は関東大会，全国大会の出場が決まる東京都予選会が7月11日・12日に東京アクアティクスセンターで行われた。
惜しくも全国中学の出場を逃したが，2種目で関東大会の出場が決まった。関東大会出場を目指していたリレーは惜しくも東京都敗退が決まった。

水泳部今後の予定

7月18日～20日 関東高等学校選手権水泳競技大会（神奈川県）
8月8日～10日 関東中学校選手権水泳競技大会（山梨県）
8月13日～16日 日本高等学校選手権水泳競技大会＜インターハイ＞（滋賀県）
8月下旬予定 学習院中高対抗戦（本校プール）
8月30日 法明立付属校対抗水泳競技大会（立教新座中高プール）
9月5日・6日 東京都中学校学年別水泳競技大会（東京アクアティクスセンター）
9月12日・13日 東京都高等学校新人水泳競技大会（東京アクアティクスセンター）

顧問 酒井

中学庭球部

■都総体第4ブロック予選会 成績
団体 準優勝 ⇒都大会出場
シングルス：4名 ダブルス：3組 都大会出場

上記の結果より、7月末に行われる都総体団体で関東大会・全国大会出場を目指すべく活動中です。



中学バスケットボール部～朽ちぬ冠を得よ～

☆春休みの取り組み☆

日頃から切磋琢磨している都内私立校との練習試合をはじめ、東京都上位進出常連校との試合も経験することができました。また、伝統的な堅守に加え、冬から取り組んだ新しいOF、個々のシュート力の向上が試合でも発揮できるようになり、格上チームと互角以上の試合をすることも。長所をより伸ばしていくことで、チーム全体が大きく成長しました。

☆1年生が入部＆現役体育会学生の指導＆新コーチの加入☆

- ・16名の1年生が入部しました。3学年総勢66名の大所帯です。伝統あるバスケ部の一員として学校生活、学友会活動に意欲的に取り組んでほしいと思います。
- ・昨年に続き、立教大学体育会バスケ部の学生が、スポット的に指導に来てくれています。
- ・コーチとして岡 怜音さんが加わり、指導に加わりました。中学生に近い目線で、丁寧に教えてくれています。

☆St. Paul's Basketball Festival 開催(2026年4月3日)

バスケットボールの聖地である代々木第二体育館にて、立教学院一貫連携教育の取り組みとして小学校から大学までの各チームが集まって大会を行いました。立教女学院、香蘭女学校も参加しています。

○ 立教池袋中学校 対 立教新座中学校 ●



☆豊島区夏季選手権大会結果報告☆

2回戦 対 淑徳巣鴨 76対18
決勝L① 対 巣鴨北 55対43
決勝L② 対 駒込 84対46
決勝L③ 対 巣鴨 73対30 区大会優勝(六連覇)、都大会進出!!

春休みの練習試合、春季大会を経て、心技体ともにひとまわり大きくなった姿をみせてくれました。3年生の強い思いと下級生のサポートがあったからこそだと思います。都大会は7月25日から始まります。応援よろしくお願いいたします。

3年生、目標に向かって1日でも長くこのメンバーで活動できるように頑張ろう!!
1・2年生、精一杯応援しよう。そして先輩の背中から学び、自分たちの出番に備えよう。



中学野球部

▽ 豊島区中学校野球春季大会

二回戦 vs 巣鴨 13-1 ○
準決勝 vs 学習院 5-4 ○
決勝 vs 本郷 5-4 ○

▽ 豊島区中学校野球夏季大会

二回戦 vs 西池袋 7-1 ○
準決勝 vs 池袋 7-0 ○
決勝 vs 本郷 6-0 ○ ☆夏季都大会の出場決定



▽第79回 東京都中学校野球選手権大会

【組み合わせ・日程】
1回戦:7月23日(木) 対 東大和二・三 (上井草スポーツセンターA面9:30PB)
2回戦:7月24日(金) 奥戸球場(9:00PB)
3回戦:7月25日(土) 調布西町球場(10:00PB)
準々決勝:7月27日(月) 駒沢球場(9:30PB)
準決勝・決勝:7月28日(月) 駒沢球場(9:00PB、13:50PB)

豊島区大会を11連覇となる優勝で終え、まずは夏季東京都大会の出場権を得ました。3月から6月まで全国レベルのチームと多くの試合をしてきた経験が成長の糧となりました。活動目標の「都大会優勝と関東大会出場」を実現するために、選手・保護者・指導者が三位一体となって最後の都大会に挑戦します。

<新入生について>

今年度は29名の1年生が入部しました。大きな可能性を秘めた選手たちです。
大切に一所懸命に指導をします。良き伝統を引き継ぎ、大きく成長してくれることを期待します。

中学サッカー部

◆大会について

【区大会：予選リーグ】

1 回戦	立教池袋	4	—	0	西池袋
2 回戦	立教池袋	2	—	2	明豊

※得失点差で決勝トーナメント進出決定！

【区大会：決勝トーナメント】

準決勝	立教池袋	3	—	0	学習院
決勝	立教池袋	0	—	2	本郷

※準優勝で支部大会進出決定！

【支部大会】

1 回戦	立教池袋	1	—	0	加賀
2 回戦	立教池袋	3	—	2	日大豊山

※都大会進出決定！

【都大会】

1 回戦	立教池袋		—		慶應義塾
------	------	--	---	--	------

※7/23 に実施

チームの目標としていた「1 対 1 で負けない」「相手よりも先にボールにチャレンジする」「最後まで諦めない」ことを、大会を通して、チームとして、人として成長することができたと感じている。練習での 1 つ 1 つの小さな積み重ねが、試合で大きな力を発揮したと思う。今後は、都大会上位、中学生最後の大会である私学大会（首都圏カップ）に向けて更にチームとしての団結力、個々の技術を上げていきたい。

◆新入部員

今年度は 15 名の 1 年生が入部した。周りを見て次を予測し、行動する部員が増えてきたことでチームとしてまとまろうとする姿勢がみられる。

今後も引き続き、「クラス」と「部活」の線引きをしっかりと、自分でサッカー部を選択して入ったことに責任を持ち、日々の活動に対して真摯に取り組み、成長していてもらいたいと思っている。最後には、サッカー部に入部して良かったと思えるよう、限りある時間を大切に過ごしてほしい。



中学 卓球部

No.4

■夏季区大会 成績

団体	優勝		
シングルス	倉橋 宏太（中 2）	優勝	都大会へ
	中川 怜 （中 3）	ベスト 16	
	木下 奏平（中 2）	ベスト 32	都大会へ

■ 6 月 20 日（土）に行われた区大会において、上記の成績を残した。

唯一、全国まで繋がっている夏の大会。団体戦では、接戦をものにし、見事都大会への出場権を得た。都大会 1 回戦は尾久八幡中学校(強豪校)。どこまで勝負できるか。

個人戦は 2 年生の倉橋の優勝はもちろん、他の選手も、勝利の喜びや悔しさの残る試合が数多くあった。都大会（団体・個人）へ向けてより一層練習に打ち込んでほしい。

■今後の大会予定

・夏季都大会（団体）	7 月 2 2 日（水）	江戸川スポーツセンター
・夏季都大会（個人）	7 月 2 3 日（木）	江戸川スポーツセンター
・私学大会	8 月 1 9 日（水）	東京体育館



高校卓球部

本年度は高 2 と高 1 合わせて総勢 18 名がそれぞれの目標達成に向けて向上心を持って練習に取り組んでいます。卓球を楽しむ気持ちをベースに切磋琢磨する中でどのような成長が見られるのか、楽しみな 1 年になりそうです。どのような部活の雰囲気を作っていくか。どんな選手になりたいのか。各々が考える機会を増やし、共有することで理解を深め、やりがいのある部活を目指してもらいたいと思います。

◆ 今後の予定 ◆

7 月 2 9 日（水）	地区別学校対抗戦 於 エスフォルタアリーナ
8 月 1 7 日（月）	私学大会 於 東京体育館

今後ともご声援を宜しくお願いします。





高校バスケットボール部

◆新入生入部！

今年は7人の新入生を迎え、32人で活動がスタートした。能力も高いうえに気が利く部員が多く、チームも助けられている。今後は能力だけの選手だけでなく、技術、バスケットIQ、フィジカルを鍛えていってほしい。

多くの部員が朝練も熱心に行い、練習では上手になりたい・試合に出たいという気持ちが全面に出ていて、学年関係なく切磋琢磨できている。今後の課題は、「チームを強くする」ための練習や意識がより出てくると、人としても選手としても、そしてチームとしてもより成長できることだろう。この夏の飛躍に期待している。

◆春季東京都大会、総体東京都予選

【春季東京都大会】

1 回戦 vs シード

2 回戦 vs 高輪 63-53 ○

3 回戦 vs 東海大菅生 41-71 ●

【総体東京都予選】

1 回戦 vs 國學院 53-65 ●

今年は3年生が中心となりつつも、1,2年生も試合に出るという学年の枠を越えたチームであった。春季大会2回戦では上背の大きい相手と対戦。相手のゾーンプレスにも苦しみ、試合を通して接戦が続いたが、最後の最後で走り勝った。日頃の努力の成果でもあり、3年生の底力を見せてくれた。3回戦ではシード校と対戦し、キャプテンが負傷離脱したものの、全員が下を向かずに最後まで戦ってくれた。総体予選では初戦から熱戦を展開。一進一退が続いたものの、最後の最後で力尽きた。

3年生はこの大会をもって引退である。少ない人数で1年間チームを支えてくれたことに感謝したい。去年の先輩たちが築いてくれたものを引継ぎ、日々意識の高い活動になるよう振る舞ってくれた。自分のプレーが上手いいかない時も後輩のことを気に掛けてコミュニケーションをとり、誰よりも自分に厳しく日々バスケットと向き合い、どんな時も声を出しチームを盛り上げてくれた3年生たち。君達のその姿は、今後のチームにも受け継がれていくだろう。本当にありがとう。

1,2年生は3年生の姿からしっかりと“学び”、さらに強く、良いチームになれるよう夏の練習に励んでいこう。

次号は秋の新人戦特集の予定です。
お楽しみに！（編集担当）

高校サッカー一部



新チームの状況

1年生が13名入部し部員が29名。

4月からの試合結果



・総体地区予選

1回戦 対 足立新田 3-3 PK 4-5 ×

リーグ戦だと下部のカテゴリーに属するチームの為、相手チームを甘く見ていたのは否めない。前半で2点先制され、後半同点に迫り着いたが最終的にはPK戦負けという、とても悔いが残る試合であった。あっさり1回戦敗退、残念な結果である。残された公式戦は選手権予選のみ。現状のチーム状況を鑑み、夏の合宿、練習試合等でチームの強度を上げて9月から開始される大会に臨みたい。（顧問）

・地区リーグ戦結果

対 淑徳巣鴨A 0-1 × 対 都立豊島B 1-3 ×

2勝4敗(7/10現在)

対 豊島学院A 2-3 × 対 豊南A 7-2 ○

対 日大豊山C 2-1 ○

対 駒込A 0-3 ×

今後の大会

選手権予選 9/5～開催